

## シラバス (授業計画)

授業科目名	開講学年・学期	必・選	単位数	担当教員名
情報セキュリティ特論	1・2年生	選択	2単位	車 炳圀
<p>授業の到達目標及びテーマ 個人として知っておくべき情報セキュリティの基礎知識について事例を中心に学び、情報システムのセキュリティ確保に関する最新の情報や技術の習得を目標とする。</p>				
<p>授業の概要 IT インフラの整備およびインターネットの普及により、個人情報や機密情報の漏えい、ウィルスなどの不正プログラムによる被害が後を絶たない。本授業では、事例を中心に今日におけるセキュリティリスクの種類やその対策について修得した上で、さまざまなセキュリティ技術について修得する。</p>				
<p>授業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回 情報セキュリティの概念</li> <li>第2回 インターネットにおけるセキュリティの現状</li> <li>第3回 脆弱性と攻撃</li> <li>第4回 マルウェアの種類とその対策（ウィルス、トロイの木馬、ワーム）</li> <li>第5回 マルウェアの種類とその対策（スパイウェア、ボット）</li> <li>第6回 被害事例：フィッシング詐欺、ワンクリック請求</li> <li>第7回 スマートフォン、無線 LAN における脅威と対策</li> <li>第8回 組織におけるセキュリティ対策</li> <li>第9回 セキュリティ技術（アカウント、ID、パスワード、ファイアウォール、IDS）</li> <li>第10回 暗号技術（共通鍵、公開鍵）</li> <li>第11回 暗号技術（デジタル証明）</li> <li>第12回 OS のアクセス制御とセキュリティ</li> <li>第13回 ユーザ認証技術とアクセスコントロール</li> <li>第14回 電子商取引</li> <li>第15回 セキュリティの認証と法律（サイバー法、著作権、個人情報保護法）</li> <li>第16回 定期試験等</li> </ul>				
<p>履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習） 授業計画に従ってテキストの該当箇所を熟読しておくこと。 用語の整理や参考書等を利用して授業内容の理解を深めておくこと。 各回、少なくとも、1～2時間程度の事前・事後学習が必要である。</p>				
<p>テキスト 書 名：情報セキュリティ読本 著 者：三輪賢一 発行所：実業出版</p>				
<p>参考書・参考資料等 情報セキュリティ白書、情報処理推進機構、2013</p>				
<p>成績評価の方法・基準 発表：20%、レポート：30%、試験：50%</p>				